



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 三共生興株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 秀夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長澤 和之

社長室でネームネージャー

下川 浩一

TEL (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
24年3月期第2四半期	17,828 △0.8	1,005 △1.5	1,104 5.8	643 △11.2
23年3月期第2四半期	17,977 3.9	1,020 168.0	1,044 163.3	725 80.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △265百万円(－%) 23年3月期第2四半期 △1,113百万円(－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	14 23	— —
23年3月期第2四半期	16 02	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	46,229	20,001	42.5
23年3月期	46,493	20,953	44.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,635百万円 23年3月期 20,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	— —	— —	15 00	15 00
24年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
24年3月期(予想)	— —	— —	— —	12 50	12 50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 23年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 2円50銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	38,000 0.3	2,600 0.1	2,700 1.9	1,600 2.2	35 35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) - 、除外 - 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期第2Q	60,000,000株	23年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	24年3月期第2Q	14,736,748株	23年3月期	14,736,748株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期第2Q	45,263,252株	23年3月期第2Q	45,263,450株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、今回の業績予想修正の詳細につきましては、【添付資料】P.5 「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考)

平成 24 年 3 月期の個別業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 % 10,300 △0.7	百万円 % 1,450 △5.1	百万円 % 1,850 4.1	百万円 % 1,100 △26.3	円 銭 24 30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、今回の業績予想修正の詳細につきましては、【添付資料】 P. 5 「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」の (ご参考) をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧とともに企業の生産活動や個人消費は回復の兆しを見せる一方で、欧州の金融不安や米国の景気後退懸念を背景とした円高・株安の進行により、景気は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、震災による消費マインドの冷え込みが続くなか、節電対応によるクールビズ商材に対する需要の高まりはあったものの、期の後半には台風などの天候不順もあり本格的な回復には至らず、全般的に厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、国内におきましては、震災による影響を最小限に止めるとともに、顧客のニーズに迅速かつ的確に対応し、ブランドを軸とした高付加価値商品のタイムリーな納品に努めるなど販売力強化に取り組んでまいりました。

また、アジアマーケットにおきましては、「ダックス」などのブランドを軸としたグローバル戦略を着実に推し進めてまいりました。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比 0.8%減の 17,828 百万円、営業利益は前年同期比 1.5%減の 1,005 百万円、経常利益は前年同期比 5.8%増の 1,104 百万円、四半期純利益は前年同期比 11.2%減の 643 百万円となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

ファッション関連事業

ファッションブランド商品の国内市場におきましては、震災後の消費マインドの冷え込みにより厳しい環境となるなか、付加価値の高い商品提案力の強化と、効率的な事業展開に努めてまいりましたが、高額商品の伸び悩みもあり、売上、利益ともに前年を下回る結果となりました。

「ダックス」を中心としたファッションブランド商品のアジア市場における販売は、為替の影響もありましたが、台湾では堅調な売上を持続し、香港を含む中国におきましても多店舗展開も軌道に乗り、売上も伸長するなど順調に推移いたしております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 4.8%減の 7,742 百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比 24.2%減の 458 百万円となりました。

繊維関連事業

アパレル企業向けの製品ビジネスにおきましては、取引先に対する企画提案力の強化による夏物商品の追加受注があり、また、生産・納品体制の確立と物流経費の削減等により利益率が向上するなど、業績は順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 11.8%増の 5,552 百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べて 145 百万円増加の 170 百万円となりました。

生活関連事業

タオル、寝装品、寝具などのリビング商品の販売におきましては、寝装品等の OEM 事業においては売上が減少するなど苦戦いたしましたが、ブランド商品の百貨店での販売が比較的健闘したほか、暑さ対策の涼感寝具や産地物タオルが好調に推移することなどにより、前期並みの利益を確保いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 4.7%減の 4,018 百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比 1.6%増の 221 百万円となりました。

不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして、東京、横浜、神戸等の不動産に係る賃貸事業は、一部で稼働率の低下もあり、わずかながら減収減益となりましたが、安定的に収益に寄与しております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比3.2%減の1,148百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比8.0%減の446百万円となりました。

その他

物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業、内装工事業等の売上高は前年同期比7.9%減の719百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べて44百万円改善の20百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,508百万円(9.4%)増加し、17,490百万円となりました。これは商品及び製品が988百万円増加、受取手形及び売掛金が783百万円増加した一方で、現金及び預金が309百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,772百万円(5.8%)減少し、28,739百万円となりました。これは投資有価証券が1,351百万円減少したことが主なものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて263百万円(0.6%)減少し、46,229百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて584百万円(3.0%)増加し、20,061百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が1,123百万円増加した一方で、未払費用が282百万円減少、短期借入金が263百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて103百万円(1.7%)増加し、6,166百万円となりました。これは長期借入金が645百万円増加した一方で、繰延税金負債が490百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて688百万円(2.7%)増加し、26,228百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて951百万円(4.5%)減少し、20,001百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が781百万円減少、純資産から控除している為替換算調整勘定が119百万円増加したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて309百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には、4,091百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が1,042百万円、仕入債務の増加額が1,124百万円あったものの、たな卸資産の増加額が1,013百万円、売上債権の増加額が785百万円、法人税等の支払額が407百万円あったことなどにより、34百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が100百万円あったことなどにより、102百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が1,000百万円あったものの、配当金の支払額が677百万円、短期借入金の純減少額が263百万円、長期借入金の返済による支出が179百万円あったことなどにより、143百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 23 年 5 月 13 日の決算発表時に公表いたしました、平成 24 年 3 月期の連結業績予想（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）を下記のとおり修正しております。

平成 24 年 3 月期の通期連結業績予想数値の修正
（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	2,400	2,500	1,500	33 14
今回修正予想(B)	38,000	2,600	2,700	1,600	35 35
増減額(B-A)	—	200	200	100	—
増減率(%)	—	8.3	8.0	6.7	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	37,869	2,596	2,650	1,565	34 59

連結業績予想の修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、震災後の落込みからの回復は見られるものの、急激な円高による影響など先行き不透明な要素が多いことから、売上高については前回発表予想を据え置いております。また、営業利益以下の各利益につきましては、店舗経費の見直しや海外店での円高の影響による経費の目減りなど諸経費の減少が見込まれるため、前回発表予想を上回る見通しであります。

(ご参考) 平成 24 年 3 月期の通期個別業績予想数値の修正
（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	1,350	1,750	1,100	24 30
今回修正予想(B)	10,300	1,450	1,850	1,100	24 30
増減額(B-A)	—	100	100	—	—
増減率(%)	—	7.4	5.7	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	10,369	1,528	1,777	1,492	32 97

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成 23 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期 連結会計期間 (平成 23 年 9 月 30 日)	(参考) 前第 2 四半期 連結会計期間 (平成 22 年 9 月 30 日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
(資産の部)			
I 流動資産			
1 現金及び預金	4,401	4,091	3,746
2 受取手形及び売掛金	7,080	7,863	7,862
3 商品及び製品	3,964	4,953	4,686
4 仕掛品	12	13	6
5 原材料及び貯蔵品	132	154	142
6 その他	436	438	451
貸倒引当金	△46	△24	△62
流動資産合計	15,981	17,490	16,832
II 固定資産			
1 有形固定資産			
(1) 建物及び構築物	10,118	9,885	9,873
(2) 土地	3,878	3,876	3,875
(3) その他	653	602	953
有形固定資産合計	14,650	14,364	14,702
2 無形固定資産			
(1) 商標権	3,772	3,692	3,924
(2) その他	194	185	111
無形固定資産合計	3,967	3,878	4,036
3 投資その他の資産			
(1) 投資有価証券	10,983	9,631	10,136
(2) その他	1,624	1,587	1,694
貸倒引当金	△714	△721	△700
投資その他の資産合計	11,894	10,497	11,130
固定資産合計	30,511	28,739	29,869
資産合計	46,493	46,229	46,702

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

科 目	前連結会計年度 (平成 23 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期 連結会計期間 (平成 23 年 9 月 30 日)	(参考) 前第 2 四半期 連結会計期間 (平成 22 年 9 月 30 日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
(負債の部)			
I 流動負債			
1 支払手形及び買掛金	4,863	5,987	6,122
2 短期借入金	11,972	11,708	12,904
3 1年内返済予定の長期借入金	359	534	359
4 未払費用	1,139	857	922
5 未払法人税等	336	258	195
6 返品調整引当金	254	297	326
7 その他	551	418	610
流動負債合計	19,476	20,061	21,440
II 固定負債			
1 長期借入金	649	1,294	828
2 長期未払金	729	624	729
3 繰延税金負債	3,207	2,716	2,932
4 退職給付引当金	546	571	575
5 長期預り金	783	782	772
6 その他	146	177	156
固定負債合計	6,063	6,166	5,995
負債合計	25,540	26,228	27,435
(純資産の部)			
I 株主資本			
1 資本金	3,000	3,000	3,000
2 資本剰余金	6,165	6,165	6,165
3 利益剰余金	17,248	17,213	16,407
4 自己株式	△5,235	△5,235	△5,234
株主資本合計	21,179	21,143	20,338
II その他の包括利益累計額			
1 その他有価証券評価差額金	3,134	2,352	2,505
2 繰延ヘッジ損益	11	△5	△18
3 為替換算調整勘定	△3,736	△3,855	△3,916
その他の包括利益累計額合計	△590	△1,508	△1,430
III 少数株主持分	365	366	358
純資産合計	20,953	20,001	19,266
負債純資産合計	46,493	46,229	46,702

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第 2 四半期連結累計期間】

科 目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)		当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)		前 年 同 四 半 期 比
	金 額 (百万円)		金 額 (百万円)		金額(百万円)
I 売上高		17,977		17,828	△149
II 売上原価		10,690		10,679	△11
売上総利益		7,287		7,149	△138
III 販売費及び一般管理費		6,266		6,143	△123
営業利益		1,020		1,005	△15
IV 営業外収益					
1 受取利息	3		3		
2 受取配当金	161		162		
3 貸倒引当金戻入額	—		38		
4 その他	65	230	51	255	25
V 営業外費用					
1 支払利息	74		59		
2 為替差損	100		57		
3 その他	31	206	38	156	△50
経常利益		1,044		1,104	60
VI 特別利益					
1 固定資産売却益	5		17		
2 貸倒引当金戻入額	27	33	—	17	△16
VII 特別損失					
1 投資有価証券評価損	33		64		
2 出資金評価損	—		14		
3 資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	7	41	—	79	38
税金等調整前四半期純利益		1,036		1,042	6
法人税、住民税及び事業税	284		350		
法人税等調整額	17	301	39	390	89
少数株主損益調整前四半期純利益		734		652	△82
少数株主利益		9		8	△1
四半期純利益		725		643	△82

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書

【第 2 四半期連結累計期間】

区 分	前第 2 四半期 連結累計期間 (自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期 連結累計期間 (自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 23 年 9 月 30 日)	前 年 同四半期比
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 少数株主損益調整前四半期純利益	7 3 4	6 5 2	△ 8 2
II その他の包括利益			
1 その他有価証券評価差額金	△ 1, 4 7 9	△ 7 8 1	6 9 8
2 繰延ヘッジ損益	△ 2 1	△ 1 7	4
3 為替換算調整勘定	△ 3 4 6	△ 1 1 9	2 2 7
その他の包括利益合計	△ 1, 8 4 7	△ 9 1 8	9 2 9
III 四半期包括利益	△ 1, 1 1 3	△ 2 6 5	8 4 8
(内訳)			
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 1, 1 2 2	△ 2 7 4	8 4 8
少数株主に係る四半期包括利益	9	8	△ 1

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,036	1,042
減価償却費	386	382
返品調整引当金の増減額(△は減少)	10	43
投資有価証券評価損益(△は益)	33	64
受取利息及び受取配当金	△164	△165
支払利息	74	59
固定資産売却損益(△は益)	△5	△17
売上債権の増減額(△は増加)	△799	△785
たな卸資産の増減額(△は増加)	△720	△1,013
仕入債務の増減額(△は減少)	898	1,124
未払費用の増減額(△は減少)	△71	△280
その他	△129	△184
小 計	547	269
利息及び配当金の受取額	164	166
利息の支払額	△74	△62
法人税等の支払額	△626	△407
営業活動によるキャッシュ・フロー	11	△34
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△268	△100
建設仮勘定の計上による支出	△133	—
有形固定資産の売却による収入	83	19
その他	△58	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377	△102
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△801	△263
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△179	△179
配当金の支払額	△677	△677
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	△28	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,687	△143
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△28
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,108	△309
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,785	4,401
VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,676	4,091

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第 2 四半期連結累計期間（自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,014	4,537	4,203	895	17,651	326	17,977	—	17,977
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	119	430	15	290	855	455	1,311	△1,311	—
計	8,133	4,967	4,219	1,186	18,506	781	19,288	△1,311	17,977
セグメント利益 又は損失(△)	604	25	217	485	1,333	△23	1,309	△289	1,020

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△289 百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△279 百万円及びセグメント間取引消去等△ 9 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第 2 四半期連結累計期間（自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,591	5,098	3,998	868	17,557	270	17,828	—	17,828
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	150	453	20	280	904	449	1,353	△1,353	—
計	7,742	5,552	4,018	1,148	18,462	719	19,182	△1,353	17,828
セグメント利益	458	170	221	446	1,297	20	1,317	△311	1,005

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△311 百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△271 百万円及びセグメント間取引取消等△40 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。